

会 議 録

1. 会議名

第1回仙北地域協議会

2. 議題（公開・非公開の別）

- (1) 地域枠予算について（公開）
- (2) 地域づくり講座の計画について（公開）
- (3) 仙北地域振興計画の策定作業について（公開）

3. 開催日時

平成20年4月28日（月） 午後7時より

4. 開催場所

仙北庁舎「第1会議室」

5. 傍聴人の数

0人

6. 出席したものの氏名

委員：佐藤力哉、熊谷政子、池田佐喜男、黒澤三郎、小林千歳、小松田有佳、
小柳都、佐々木忠雄、進藤豊和、進藤勇吉、竹村正資、千葉嗣助、
戸澤龍悦、茂木保治
(委員14名の出席、欠席4名)

仙北総合支所：佐藤支所長、小西地域振興課長、佐藤建設課長、鈴木農林振興課長、
小林市民課長、樫尾教育分室長
板先健康増進センター仙北分室副主幹
熊谷地域振興課参事、皆川同課主幹、池田同課主任

7. 発言内容

小西地域振興課長

【開会】

第1回仙北地域協議会の開会を宣告

佐藤会長

【会長あいさつ】

みなさん今晚は。みなさんにはお疲れのこととは思いますが、ご参加いただきありがとうございます。桜も早く終わってしまい、いつもなら連休中に満開を迎えるのが常でしたが、今年は1週間以上早いということです。今日、北海道から帰ってきた人の話によると札幌は今が満開だそうです。

仙北の観桜会が先週の土曜日に真山公園の北側で開催されましたが、桜は1分程度しか残っていない状態での花見でした。ブラスバンドのチームの方や踊りの関係の人達、カラオケ同好会のみなさんの参加で盛り上がった観桜会でした。商工会や観光協会からも働いてもらって、いつもとは違った、また楽しい観桜会だったと思っています。時期が早かったのが、いまひとつだったとは思いますが、その点は来年度以降考えていくとのことでした。

今日は、仙北地域協議会平成20年度第1回の会議です。前回の平成19年度最終の会議において今年度の予定をある程度協議いたしました。今日はその確認と2・3の議案がありますのでご協力をお願いします。

佐藤支所長

【支所長あいさつ】

皆様、夜の開催ということでお疲れのところご出席いただきましてありがとうございます。仙北総合支所長の佐藤でございます。よろしくをお願いします。

何分にも業務範囲が広いということで、1か月になりますが、まだ戸惑っている状態でございます。仙北地域の発展に向けまして精一杯がんばってまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

それでは、一言ごあいさつ申し上げます。

日頃から市の行政に対しましては、格別なるご支援を賜りましてこの場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。合併いたしまして4年目に入った訳でございますけれども、市の財政は依然として苦しい状況でございます。こうした状況を踏まえまして、昨年に引続き一般職の給与の削減、またコスト削減を図るため既存事業の見直し、さらには事業の統廃合など再構築を行っているところでございます。

このような財政状況でございますが、今後とも市と致しましては、市民が生き活きと希望を持って暮らしができるまちづくり、また環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、どうかよろしくをお願いします。

当地域に関しましての今年度の主な事業につきまして、この場をお借りし若干述べさせていただきます。最初に、仮称ではございますけれども新仙北体育館の建設でございます。今年と来年の2か年で行うことになっております。

それから戸地谷地区の簡易水道の早期供給を目指してまいります。

一部供給は21年の8月中旬を目処としております。

次に、当地区の交通体系でございますが、乗合タクシー2路線の上野田線と板見内線は、この4月から実証運行をしており、開始以来大きな混乱もなく1日あたり2台ほど運行されている状況でございます。

以上、主な事業を述べましたけれども、さきほどの乗合タクシーの例を挙げるまでもありませんが、これまでの市民サービスを低下させないように創意工夫をして事業にあたりたいと心しているところであります。

なお、市長からのお話ですが、平成20年度からは協議会への3月の出席に加えまして、10月もしくは11月頃にも市長あるいは副市長が地域協議会に出席いたしまして、協議会委員の意見をお聴きし、予算が伴うものについては、予算編成に反映させたいということで、年2回の協議会への出席を提案されていますので、よろしくお願ひします。

最後になりますが、今後とも皆様の豊富な経験と知識が仙北地域の住みよい市民生活に反映されますことをご祈念申し上げまして、あいさついたします。

小西地域振興課長

【4月1日付け異動に伴う職員の紹介】

佐藤支所長、小林市民課長、檜尾仙北分室長、板先健康増進センター仙北分室副主幹、小西地域振興課長を紹介

続きまして、議事に移らせていただきます。大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第4項の規定によって会議の進行は会長よりお願ひします。

佐藤会長

会議に先立ちまして、会議録署名委員は小柳都委員、進藤豊和委員にお願ひします。

それでは、議事に入らせていただきます。議事の1「地域枠予算について」です。皆川主幹より説明お願ひします。

皆川主幹

【地域枠予算について資料により説明】

佐藤会長

1つは、史跡の里づくり委員会からの提案で、彩夏せんぼくのせんぼく歌の共演に替えて平安行列に対して地域枠予算を執行したらということです。あとは、寺村会館の舗装整備と真山公園のテングス病対策、以上3項目です。

最初に、彩夏せんぼく平安行列についてです。私も彩夏せんぼくの史跡の里づくり委員会のメンバーでございます。これまでも数回地域

枠予算を歌の共演に支援していただいていたおりましたが、やはり彩夏せんぼくのメインは平安行列であろうということで、今後地域枠予算が続くということであれば、一番のメインである平安行列に地域枠予算を充当した方がよいのではないかという意見がございました。これについていかがでしょうか。

小林委員

平安行列に力を入れていただけるのはありがたいです。わらび座にも歩き方を習いに行ったこともあり、化粧の仕方もわらび座から教わりましたので、もっと華麗に美しく盛り上げられたらいいなあと思います。企画も皆さんのアイデアでもっと明るく楽しいものになればとも思います。

佐々木委員

彩夏せんぼくそのもののメインは平安行列ですので、それをずっと続けていくことになれば、この平安行列に支援をいただければ、昨年までの名目よりも効果的だと思いますので、私からもよろしくお願ひします。

佐藤会長

ちなみに佐々木委員は史跡の里づくり委員会の委員長です。

千葉委員

私も地元の代表としてお世話をした記憶があります。始めた頃もそうでしたが、観光を主体とするか、文化財としての歴史的なものの祭りにするか、委員の中でも完全に2つに分かれていたと思います。ですが、史跡のまつりといっても今は歌謡ショー化しています。平安行列は少ししかやられていないというのが私の理解です。平安行列を計画的にもう少し規模を大きくしてもらいたいと思います。

池田（佐）委員

平安行列は、当初、1回仮装行列をやったときがあります。その時は非常に盛り上がりはありましたが、平安時代の仮装と違ったものがあったりして、やはり平安は平安の仮装ということで、忠実に再現すると云うことで、平安行列が続けられています。しかし、実際に見に行った人達からすればメインはステージでの踊りとか歌とか、最後の花火ということになって、平安行列は形だけになって、皆さんの関心も下火になってきているのではないかと、時間的にも僅かに会場を歩くだけなので、地域枠で支援をするのであれば、もっと趣向を変えて関心の持てるようなものにしてもらいたいということで、地域枠予算での支援には賛成します。

佐藤会長

平安行列に参加者が少なくなっているのが昨今の状況です。皆さんの協力を得て参加者を募って平安行列の時間を長くしたいと思います。

佐々木委員

千葉さんや池田さんの言うことは私もよく判ります。ただ私の立場から言わせていただきますと、出演者が100人だと大したことはないと思われませんが、この100人を集めるのに大変な苦勞をしています。なんとか皆さんからも参加していただければありがたいのです。また、大人から子どもまで統率をしなければならぬのと、この100人への着付けや化粧など裏方の仕事は大変です。私の立場からですと、祭りが終われば「いや～終わった」という感じです。

皆さんから良い提案をしていただいて、より以上に協力していただかなければ盛り上がった祭りは出来ませんので、よろしく願います。

小林委員

衣裳にお金をかけているということで、わらび座に行ったときに、すごく褒められたんです。この衣裳を着て記念写真を撮ってもいいなとも言われました。ちょうどアテルイというミュージカルで盛り上がっているときだったので、俳優さん達にすごく褒められました。

佐藤会長

衣裳は大分高いもので、洗濯するにも1万、2万というものではないので、大事にしていきたいと思います。

千葉委員

京都から借りられる経費があれば、近くのわらび座の協力をもらうことが出来ると思います。同じような史跡ということで多賀城との交流もやったこともありますが、観光主体になって人集めのためにそういったことになって今のようになってしまうと思います。観光なのか文化財主体なのかということが曖昧になってしまうと駄目だと思います。結果としては賛成ですが、そこのところを工夫して欲しいと思います。

佐藤会長

判りました。他にご意見がなければ了承することとしてよいでしょうか。

各委員

【全員異議無し】

佐藤会長

資料3の寺村会館前舗装整備事業についてです。これについては、特に問題はないと思いますが、よろしいですか。

各委員

【全員異議無し】

佐藤会長

次に、真山公園内桜テングス病枝除去事業です。さきほど冒頭に述べましたが、先週土曜日、観桜会に防犯指導隊として行きました。桜

の花はなかったのですが一日木を見て来ました。非常に緑の部分が強調されて、ほとんどテングス病でした。いままで払田の方が切っていたということでしたが、腰の具合が悪く、担当が別の方になったと聞いております。前任者の話では、テングス病対策として予算がつかないため、なかなか手が回らないとのことでした。そこで、地域枠予算をと思ひまして提案させていただきました。

テングス病にかかっていない木はないです。黙って構わないでいると段々増えてきて枝の根本から切らないと他にも移っていく病気です。除去作業としては、10月から3月頃までの期間が適期のようなようです。

茂木委員

テングス病は聞いたことはあるような気がするが、一本全部が死んでしまうのか。

佐藤会長

テングス病になると桜の花が咲かなくなります。写真で判るように鳥の巣のようになって枝が混み合っているところがテングス病です。その根元から伐採しないと駄目になってしまうということです。

池田（佐）委員

原因は何なのか、枝だけ切れば十分なものなのか。薬剤はないものなのか。そこら辺は、どうでしょうか。

佐藤会長

今日ネットで見てきたのですが、テングス病の対策は、枝を切ることと、切った後の切口の処理、消毒剤あるいは木工用ボンドでもいいそうです。

進藤（勇）委員

私が知る範囲では細菌のようです。構わないでおくとか伐採するしかないようで、出たら切っておかないと、1年だけでは無理で継続していかないといけないらしいです。ですから、これは絶対やるべきです。

茂木委員

角館の桜にもテングス病はあるのか。

佐藤会長

角館では桜課というのがあって、専従の職員がいます。中仙では八乙女公園や道の駅の土手の桜も毎年テングス病除去作業をやっているそうです。いずれ、1年では済まないのでも継続してやっていかなければならないと思います。

千葉委員

いずれ10月から3月までの作業なので、もう少し時間を掛けて調べてみたらどうでしょうか。やることには賛成です。

進藤（豊）委員

この事業は、継続して行わないといけないようなので、他でも地域

枠予算を使って同様の事業を行っている例はありますか。

皆川主幹

中仙地域では19年度に同様の事業名で八乙女公園と斉内川土手の桜に地域枠予算のうちから約74万円で実施しているようです。

黒澤委員

私の家の桜もこの病気にかかりましたが、早期に見つけて除去すると割にかからないようです。何年もなっていると、このようになってしまうようです。常にパトロールをして管理することが大切だと思います。

佐藤会長

行政で何か作るにしても、作った後の管理が上手くされていない例があるようです。今は構造物を作るにしてもアセットマネジメントというような方法を使ったライフサイクルコストの低減に努めているのが行政の方向のようです。桜の件は遅いですが、今手を打っておかないと、真山公園の折角の桜が全部枯れてしまうような状況は良くないので、少しでも早く手を打つべきだと思います。

各委員

【全員賛成】

佐藤会長

皆さんから賛成していただくということですが、一応専門家の樹木医から情報を集めておきますので、よろしくをお願いします。

以上で、地域枠予算については終わりますが、ここで払田柵売店について、熊谷参事から説明をお願いします。

熊谷参事

4月16日に文化財保護課、売店会、柵の案内人代表者にお集まりいただきまして打合せの会を行いました。売店会では観光PRを兼ねた販売所として今後とも運営してまいりたいという意見でした。市としても協力していくことで話がなされております。結果として、あのままの状態ではうまくないので、景観等を考慮しながら、前にもお話ししましたがお金のかからない方法で改装できないものか、話し合いをさせてもらいました。そのため原材料を購入して、大工の経験のある方をお願いをすることで話を進めています。見積については、文化財保護課にお願いしている状況です。金額が決まりましたら、地域協議会にお諮りして、この事業を進めたいと思っております。

具体的に、どのようにするかについてはガイダンスの並びに売店を移設し、周りを木材で囲む方法で、今より若干広くするようにしたい考えです。

佐藤会長

今後、概要等が明らかになった段階で、皆様にお諮りすることによってよろしいでしょうか。

熊谷参事	この事業を行うにあたって、工事時期又は工事期間等のために、結果として協議会へ事後報告になる可能性もあろうかと思っておりますので、その節はよろしく申し上げます。
佐藤会長	池田さん、柵の案内人側として何かありますか。
池田（佐）委員	先の話で、今の売店をガイドンスに付けて少し拡張した規模で移設したらとのことでしたので、そうだとしたら案内人の休む所もないので休憩所を付随した形で要求しましたが、市では予算の関係で、それは出来ないということでした。今の規模の店舗を若干広げ、庇を設けてお客さんが休む場所を作るということでしたので、案内人もそこで休むようにとのことで、それも仕方ないことだと思っています。ただ、売店の方々が続けてやってくれるとのことでしたので、大変良かったなと思っていますし、完成するのを楽しみにしています。
佐藤会長	ありがとうございました。この件につきましては、これで終わります。 次に、「地域づくり講座の計画について」に移ります。
皆川主幹	【地域枠予算について資料により説明】
進藤（豊）委員	旧仙北町での高梨地区、横堀地区は分かりますが、そこにどれくらいの自治会があるのか把握したなかでお話を伺いたいと思います。
皆川主幹	仙北地域の自治会の数は52あります。市の自治会育成支援事業補助金を受けているのは50自治会です。
千葉委員	集会所も50か所あるということですか。
皆川主幹	集会所を共同で使用している自治会がありますので、自治会の数よりは少なくなります。
進藤（豊）委員	仙北地域では52の自治会があって、50の自治会が市から支援を受けているということですが、仙北地域の住民すべてが52自治会に加入しているということですか。
皆川主幹	戸地谷地区ではアパートがありますが、町内会としては1棟につきいくらかの会費をいただいているところもあります。このアパートの住人についてははっきりとした情報はこちらでも持っていません。い

ずれ、町内会でもこうしたアパートの住民の方々へ、どのようにしてアクションをしていったらよいか難儀しているようです。

佐藤会長

52の自治会を、どうやって地域づくり講座に取り入れていくかが課題だと思われます。

自治会の連携と組織化については、誰がお願いするのか。

皆川主幹

地域づくりについてこれまで指導をいただいている宮城大学の鈴木先生の話では、組織を作るのは簡単だけれども、作った組織の役割についてどれだけ理解しているかは疑問が残る、と言われておりますし、そうした組織は長続きしないだろうとも指摘されております。ですので、地域づくり講座でいろいろ話合っただいて、理解を深めていただきたいという計画案です。

熊谷参事

地域づくり講座と地域振興計画策定そして自治会の連携と組織化については、一つには地域づくり講座を通した中で地域振興計画を立てたいということがございます。去年も地域づくり講座を実施した中で地域からいろいろな意見がでてきましたので、こうした意見も反映させながら計画を策定したいということです。自治会の連携と組織化については、協議会委員から連合会の組織についてなかなか進んでいないという指摘がございましたので、行政から自治会へお知らせしたい事項や自治会からの意見もあろうかと思っておりますので、そうした場を設け連合組織の立ち上げを進めてまいりたいと考えております。

千葉委員

私は、このことについては何回も話をしてきております。いずれにしろ行政では各自治会へ代表者を集めて補助金の説明会をやっていると思っておりますので、そうした場を捉えて自治会代表者に理解してもらう努力が必要だと考えます。また、地域づくり講座を開設する前に、自治会の皆さんを集めて連合会等について説明をし、会長さん達の意見を集約してこの会に出してもらえば、私達も自治会への働きかけが出来ると思っております。

熊谷参事

自治会には行政協力員と自治会の会長又は代表者がいて、実質的にものごとを決めるのは自治会の会長さんです。いままで支所では年1回行政協力員会議を開催して行政の内容について説明してきておりますが、自治会の会長を集めての説明会は1度やっただけで今までございませんでした。それで、こうしたことは自治会の会長に対して行うべきと考え、行政からの連絡の場と自治会からの意見を述べる場を設け、連合会を育てていこうかなと考えておりますので、よろしく願いします。

千葉委員	<p>会館を中心の地域づくりというのが前から資料としてでていますが、そういうことを行政で取組んでもらわないと、講座をやっても去年は2か所モデルでやって、今年は4か所5か所やったとしても、5年も6年もかかることになります。そういう意味で地域づくり講座の前にやっていただければ、もう少し効果があるのではないかと考えます。</p>
佐藤会長	<p>自治会会長を集めての会合の時期は、いつごろですか。</p>
熊谷参事	<p>はっきりとは決まっていますが、連休明けの早い時期に通知してお願いしてみたいと思います。</p>
佐藤会長	<p>判りました。地域づくり講座が6月からということなので、その前に集まってもらい、どういう感じだったのかを報告してもらいたいと思います。</p>
進藤（勇）委員	<p>講座との結びつきとかがあるわけですが、私はもっと簡単に、各自治会から要望を聴くというだけでいいと思います。各自治会の総会が3月か4月にあるわけですので、市に対する要望事項や自治会での問題点とかが集約して、それを持ち寄って、今言った連合体を作るための資料を作っていくようにすればいいのではないかと思います。</p>
佐藤会長	<p>進藤委員のおっしゃることは判りますが、これまでもアンケートや調査を行っていて、なかなか要望等が出てこないため、それが問題なのです。</p>
進藤（勇）委員	<p>各地域に問題が全くないのか、全く無関心なのか。回答がなかったから、じゃあやめようか、ということでは上手くないので、何遍でも要望を聴き、出させるべきだと思います。</p>
佐藤会長	<p>判りました。いずれ各自治会の皆さんから集まってもらうということなので、要望なり問題点を出してもらう用紙を添付して、皆さんに集まってもらうことにしたらよいかと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>【全員異議無し】</p>
佐藤会長	<p>次に、「地域振興計画の策定作業について」です。</p>

皆川主幹	【地域振興計画の策定作業について資料により説明】
佐藤会長	今年度は、地域振興計画を策定することになっています。さきにこの地域協議会とは別枠で計画策定についての協議会を開催するか話をしましたが、このことについて協議願いたいと思います。
熊谷副会長	難しいことですが、そういう意味でも先ほど地域づくり講座とリンクしてということを経務局から話があったことだと思います。何の指針もなく、この会で計画を策定しろといわれてもお手上げ状態だと思います。そうだとすればリンクする形でお願いできれば助かると思いました。
千葉委員	市で作った計画の仙北版というのがありますが、それよりももっと具体的なものということなのではないでしょうか。
皆川主幹	さきに配布しました資料は仙北版と全く同じものです。ただ、委員の皆さんが作業しやすいように加工した欄を設けただけです。大仙市の基本計画はあくまでも市全体を対象としています。地域振興計画は仙北地域の今ある課題等を解決するため、どのような仙北地域のまちづくりを描くかということです。
佐藤会長	第1回目の協議をいつ開くかということを決めてしまわないとキックオフしないわけなので、この後どのように順序立てて立案していくかを検討していかなければならないと思います。 さきほど地域づくり講座とリンクさせてということがありますが、私は5回の講座では出来ないと思います。
熊谷副会長	私も早く何時やるか、またどこまでの範疇を集めるかを、この会で決めなければならないと思います。
熊谷参事	どこの地域協議会でも、このことについては難儀をしています。地域協議会の委員だけで作った計画もありますし、意見を聴くといっても全体の意見を聴くことはかなり難しいと思います。いずれにしても自治会の方は立ち上げて意見を聴くようにします。そして、昨年行った講座でも自治会から様々な意見が出てきております。講座では3グループから意見を出してもらいましたが、ほとんど同じ意見でした。そういう意味で、そうした意見をトータルしながら作っていただくということをお願いしたいと思います。
進藤（勇）委員	あとは方法論だと思います。全体で全部を検討するか、分科会形式

などで専門的に検討するか、ということになります。時間がなくて第1日目で方向付けしないと間に合わないと思います。

佐藤会長

この時間で方法論を論じるには無理がありますので、第1日目を開催して何とするかだと思いますので、この会が終わるまで期日の検討をお願いします。

次に、その他に入ります。

町内集落会館建設費等補助金の運用方針案について、熊谷参事からお願いします。

熊谷参事

報告とお願いでございます。町内集落会館建設費等補助金について来年度からの話ですが、これまでは会館建設の補助金については、その都度、補正で対応してきましたが、予算編成の考え方から補正対応を見直すことになりました。そのため来年度分からは、前年度の10月までに申込み申請をしていただき翌年の新年度予算に計上するという考え方のようです。会館の新築・改築の予定がございましたら、委員の皆様からご説明していただければ幸いです。よろしくをお願いします。

熊谷副会長

地域枠予算の執行率についてお聞きしたいのですが。私達の地域と同じような課題を抱えている太田や中仙での執行率はどうなっているのでしょうか。

熊谷参事

執行率の低いところは、大曲36.19で、次が仙北です。あとはすべて90%を越えています。これまでも間違ったやり方をしているわけではありませんが、要望があれば様々に検討した中で対応していく予定です。

佐藤支所長

地域枠予算につきましては、拡大を含めて検討することになっております。

佐藤会長

次回の協議会の開催について、いつ頃よろしいですか。鈴木先生の都合は聞いていますか。

皆川主幹

鈴木先生に出席していただくとすれば5月8日か9日または16日であれば可能だと言われておりますが、開催につきましては委員の皆さんの意見が優先します。

佐藤会長

5月9日をお願いしたいのですが、よろしいですか。

各 委 員

【全員異議無し】

池田（佐）委員

仙北総合支所に要望ですが、前にもお話ししていますが、ゴミの問題です。これから夏場に向けて臭いなどがひどくなってきます。このことについての解決策がなかなか見いだせないでいますが、良い案がありましたら対応していただきたいというお願いです。

佐藤支所長

この問題につきましては、当事者の許可がない限り行政として入っていけないわけです。本人が片付けてもらいたいというのであれば環境課では、すぐ対応すると言っています。ですから、本人の了解がなければなかなか難しいと思われまます。

小林市民課長

私共が心配しているのは、一度行政ですべて撤去した後に、また同じような状態にならないかということです。不法投棄の場所を行政で片付けても、すぐにまた同じような状態になる心配があります。地域の皆さんが個人のゴミを行政が片付けることを納得していただけるかということもあります。私達が理想とするところは、まず本人に納得していただいて、地域の皆さんに協力をもらって、一緒に片付ける形をとるということです。私も不法投棄の撤去をしたことがあります、地域の皆さんから協力をもらった場合は不法投棄がなくなる効果があり、行政だけでやった場合は解決にはなりません。もう一つここで考えなければならないのは、行政で片付けるのは本人は納得するかもしれませんが、地域の人と一緒に片付けるといった場合は本人が嫌がるかもしれません。ただ、このことには向かっていかなければならないと思っていますので、市民課で悩んでいるところです。

戸澤委員

日頃から思っていますが、自治会会長や災害予防組合長などがいますので、そういう団体に働きかけはありますか。こうした団体に働きかけることによって地域の人たちがまとまるのではないと思えます。去年、農地水環境保全事業の関係で乱雑になっていた箇所を地域で草刈りして整理した例もあります。何か一つの働きかけを、市から市民課でもいいのでやってみたらどうでしょうか。

小林課長

おっしゃるとおりで、地域からの協力をもらうのが理想だと思います。行政としても、いろいろな団体などに働きかけて前向きに対処していきたいと考えています。

佐藤会長

よろしくお願ひします。
ほかにありますか。

樫尾分室長

市民会館の自主事業として7月5日にふれあい文化センターで寺内タケシとブルージーンズのコンサートがあります。5月17日からはAABのテレビでもPRすることになっておりますが、皆様からもよろしくお願ひします。

佐藤会長

それでは、これで第1回の地域協議会を閉じます。長時間ありがとうございました。

【9時04分閉会】

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員

仙北地域協議会署名委員
